第五回連珠正解者抽籤により（宮浦）田畑正美（三川）江崎自舟（三川）畑田範之（三川）中村芳雲

第一回子供のクイズ正解者抽籤により（本所）猿渡洋子（宮浦）中山裕子（三川）德永英子（港務）草野寫志（宮浦）高旅龍子

第五回主婦のクイズ正解者抽籤により（宮浦）瀬脇イク（三川）渡邊ミツヨ（本所）平山ヒロ子（三川）古賀ハギ（本所）猿渡[illegible]

意氣が溶け合う踊りの輪
賑つた各社宅の盆踊り

去年もそうだつたが、今年のお盆は各社宅で盆踊りがいとも盛大に行われた。中でも三川支部緑ケ岳社宅では十五町内に夫々ヤグラが組まれ、地域分会と炭婦協の共催で十四、十五日の両日涼風の吹く午後六時過ぎから老いも若きも総出で踊りの輪に加わり、酒井支部長の言によると「企闘以来の大動員？」と云う景観を呈した。

近郊にも評判　緑ケ丘

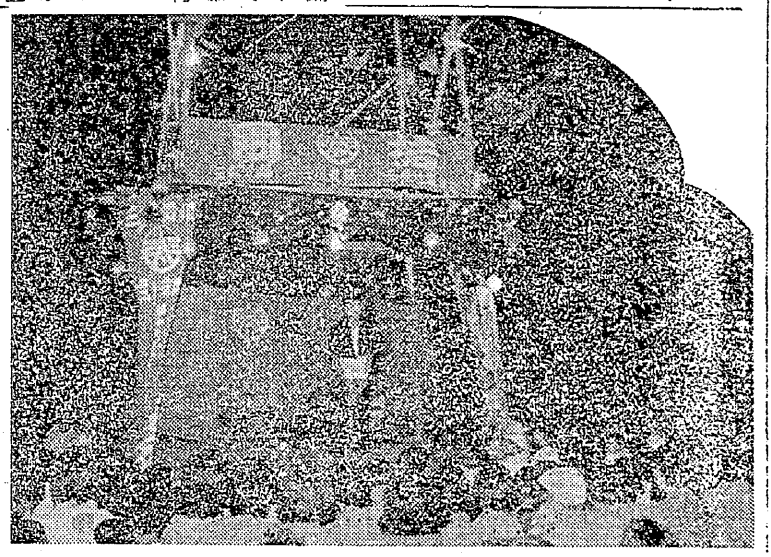
緑ケ丘に於ては十四日各町内毎に盆踊りが行われ、更に十五日には十二ケ町内の盆踊りが保育園広場に繰り込み盆踊り大会を行い、その間約二百発の花火、仕掛け花火等で更に生彩を加え準備に当つた地域分会並びに炭婦協の役員も大張切り、又組合員や家族も八月に入ると直ぐ毎夜踊りの稽古に取りかゝり、これが近郊の評判となつて当日は大道商人の申込みも出、その夜のにぎやかさは緑ケ丘初つて以来だつた。

うちわ片手に　四山

四山支部地域分会長会議で盆行事に各地域ごとに寄合を作り盆踊り大会を行うことを決定、八月一日から各分会色とりどりの踊りを練習、ボーナスを浪費しないで済むよう地域で女子供そしてお父さん達を含めた盆踊りで一日楽しくすごした。

盛り澤山な餘興　西原

西原地域分会では炭婦協と合同主催で和風寮跡の広場に於て盛大なる納涼盆踊り大会を午后六時四十分より開催した。尚当日の盆踊り大会の余興として素人のど自慢大会や舞踊・万才・寸劇等色々と盛り沢山なる余興のプログラム、特に山田光子さんの五木の子守唄及び大倉仙頭さんのラ・クンパルシータの舞踊には観衆は美しさと踊りのうまさにうつとりとし、二十一班の万才、寸劇には玄人も顔負けする熱演に観衆万雷の拍手を贈り月光輝く深夜十二時夜の更け行く中に大人子供の盆踊りを最后に亡き人の霊の冥福を祈りながら盛況裡に幕をとじた。また翌十六日盆休みの最終日には荒尾第一海水浴場にバス三台に分乗した約一五〇名の大人子供は和気あい〳〵として海水浴場に向つた海水浴場での行事としては水中競泳は飛沫を上げて泳ぐカンパ連中もそれを見守る大人達もいかにも楽しそう、砂浜の陸上競走は足自慢も思うにまかせぬ番狂わせも出て、一日を楽しく過し午後二時日やけした顔をそよ風になびかせ行きのバスに揺られながら帰路についた。



（寫真は西原社宅の盆踊りのワンカット）

炭鉱ばやしで一踊り　小濱南

小浜南地域分会では、盆踊りを地域分会のみでなく、地域全般の明朗化を図り今後の闘争に資するため炭婦協、青年会と共催することに決定、十四、十五の二日間地域広場に於て華々しく開催した。この日は、のど自慢や炭鉱ばやしを始めとした多彩な盆踊り風景を現出し、社宅居住者は勿論外来からの参加者もあり多数の老若男女で大いに賑つた。尚この二日間に亘つて炭婦協役員の献身的な努力は特筆すべきものであつた。

みんな仲良く　宮原

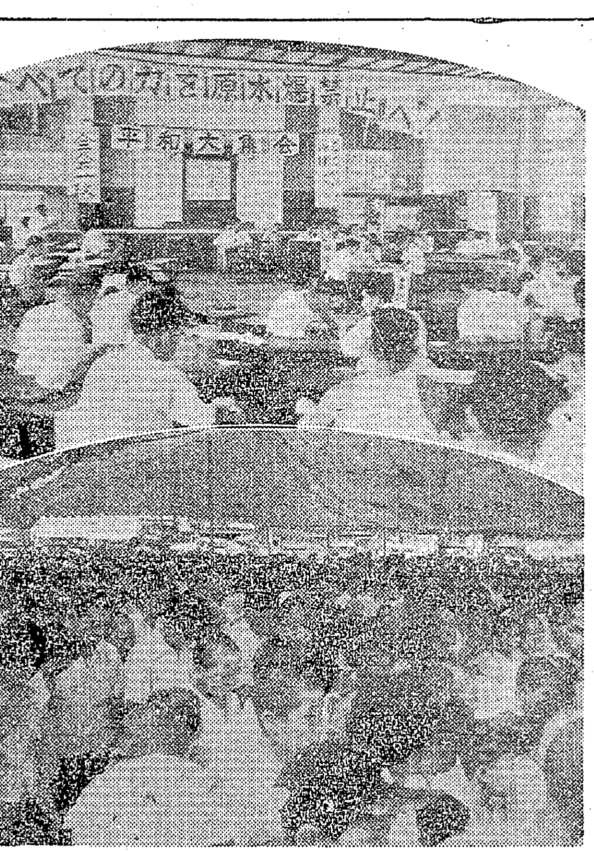
宮原社宅では、昨年は企闘中という異常な状態で出来なかつた盆踊りを今年は地域分会、炭婦協、公民館の共催で十四日夜八時より盛大に挙行（と云つても苦しい予算の中からのやり繰り算段してではあるが）保育園裏の広場に櫓を組んで老若男女四百名が参加、皆仲良く輪になつて大牟田小唄、炭鉱節、東京盆踊り等のメロデーに合せて踊り廻り、踊りの合間にはのど自慢　それも一二〇名からの出場者で賑つた。「平和」「平和」と櫓太鼓は遅く迄鳴り響いた。

〃盆踊り所感〃

自信ない踊りへ灯りあか過ぎる
よく出来た踊りも一度所望され
手踊りのまた間違えた汗を拭き
盆踊り詩情をそゝるように月
連休を役員盆行事へ多忙
宮崎　天馬

原子野を圧す平和の歌
原爆乙女等は叫ぶ
「犠牲者は私一人で結構です」

九たび迎える、長崎原爆の日、一瞬にして七万五千の生命を奪つたこの日犠牲者に心から平和の祈りを捧げる平和大集會は長崎市勝山小学校で午前十一時より開かれたこの大集会には全九州から、労働者農民中小企業者学生代表が参加地元大牟田からも大地評傘下の労働者や主婦の代表が参加し平和を求めるための眞劔な討議が交された以下は三鉱労組代表として参加した菊川副組合長の報告である。



死絶えた被害者達
長崎市民の參加が少いわけ

会場正面には「原水爆禁止へ」「なごやかに冷靜に」「全国一致で」ののぼり、両側には各地から寄せられた平和の千人針の旗、二千名署名、平和祈念の旗が張りめぐらされている。

先づ会議は議長団選出后みんなの意見で原水爆禁止運動をもう一歩進めて行く為にどうしたらよいか」について討論が開始された。

問題の焦点は、平和を守ると云う一点で思想、信条、階級の違いを乗り越えて統一しうる共通の問題をお互の立場を乗り超えて話合うと云う一点に集められ討論が活発に行なわれたが、討論の最中に、三池から出席してゐた松永君は「本日のこの大集会には遠く鹿児島、宮崎等九州南の端からすら集つているのに、いつたい被害の当事者である当長崎の市民が幾人集つているか、我々は被害を受けられた本人より当時の模様を直接十分聞いて、その人々の身になつて地元に帰つて平和運動を推進して行きたい」と発言した。

この時長崎の一婦人代表は発言を求めて、その事を指摘されると甚だ遺憾でありますが、実は現在の長崎市民のほとんどは、終戦後移り住んだ人が多く、原爆投下された当時の人々は大半は死亡し、或はその頃は幼時でまだ何も知らなかつたりする人が多いのです。私も丁度その時長崎には居りませんでしたが、直接帰つて来て或る奥さんから聞いたお話を致しますと前置きして次の通り発言された。

その奥さんは自分の内で同時に三人の子供を原爆の為に亡くされたが、物心の付いていた一番上の子は自分をみつめ乍ら、お母さん〳〵と苦しそうに死んで行つたし、一番下の幼児の頭は「ざくろ」の様に頭がわれて死んだ。勿論家は吹き飛んでしまつたが、その後或る人がその土地を買つて家を造られ、子供が死んだ処にあたる場所に鶏小屋を作られたので、子供を亡くされた奥さんは毎日〳〵子供に御飯を食べさせる様に鶏に「エサ」を与えている、その有様がまるで何かにつかれている様であつた。

私の一生を「平和」護持のために
原爆傷の少女は叫ぶ

原爆傷のある女性が

私は学徒動員で工場に居つてこの位の傷で済みましたが、家に居りました母と弟二人は原爆の為に亡くなりました。下の弟は小さくて即死致しましたが、上の弟は傷一つありませんでしたが三日後に苦しんで死んで行きました。母も五日位で亡くなりました。父は焼けている学校の焼木を持つて来て次々に家の庭で死体を焼いていましたが、その時陛下の終戦の言葉を聞いて只「ウオーー」と云つて狂つた様に家の周囲を走り廻りましたその時の情況が未だ忘れ去る事が出来ません。私は一生を通じ平和の為には身を捧げて二度私達の受けた犠牲を他の人々が受けない様努力したいと思います

原爆で全滅した三千人の若人

青年は次の通り発表した。

自分は三菱の造船所に動員されていたが奇蹟的に生き残つた一人です。当時三千名位の若者が動員されていたが終戦と同時に動員解除の命令を受く可く本社事務室の前に集合を命ぜられた然し集つた者はわずか三、四十名位であつた。然も殆んどが傷を受けていて、故郷の土を踏む前に半分位は亡くなつたし、故郷に帰つた者も大部分は白血球が減少して亡くなつた様に聞いている。原爆とはこの様に恐ろしいものです。今度又水爆が出来た様ですがこれは原爆の何倍か強力だと聞いています、私はどんな事があつても原水爆使用禁止の為には頑張る覚悟でいます。

平和運動の推進を
自己の利益に使うな

全日本人の要求であり、全世界人類の目的である平和運動がなぜ進まないか、原水爆禁止の為に一歩前進するにはどうすればよいか」の一点に集中した討論が交された結果、先づ

イ、政党は平和運動を政党の政治目的のものにしてはいけない。

ロ、労組は労働条件改善等経済闘争の一手段として利用してはならない。

ハ、学生は勉学の自由と独立を守る闘いの中に平和運動を取り上げてはいけない。

ニ、商人は自己の利益追及の為に平和運動を進めてはならない。

（これら決議は広汎なる平和運動を展開するための決議である）

謂所平和運動とは、平和への目標を完遂する為やるのであるから、お互の立場を十分尊重して運動を推進しなければ失敗するので、今迄にこの運動に参加しなかつた人と極力参加して貰う様に努力しなければいけない。との前提にたつて次の結論を導き出した。

一、長崎、宮崎、鹿児島の各県に於ては原水爆反対決議がなされていないので、反対決議する様要請する。尚岩手、和歌山の各県に於ても同じ。

二、平和宣言を長崎県知事にさせる様に要請する（広島県知事は宣言発表済）

三、原水爆禁止、及原水爆国際管理について各国元首、及首相に対し要請する。併せてこの問題に関し直に各国話合いを始める様に要請する。

以上の結論を出して平和を希う人々及団体の有意義なる大集会は夕刻六時その幕を閉じた。

菊川副組合長談

三鉱労組として始めてこの平和大集会に参加した私は勿論新聞雑誌等を通じて原、水爆の威力を不十分乍ら承知していたが、実際浦上（原爆投下中心地）に来て九年後の今日でさえ未だ復旧していない建物、道路等を見原爆の被災を受けた人より直接実情を聞いて、今更乍ら原爆製作者とこの使用を命令した指導者に対する憎しみと憤りを禁じ得ないものである。我々はあらゆる困難と努力を払つても平和への目的達成に努力を傾注しなければならないと考える。

万策つきて遂に廢山
高倉労組は斯く闘つた
花園指導員の現地ルポ

長期に亘る賃金遅欠配で血みどろの闘いを続けた高倉労組連合会と炭婦協は三池生友等からのカンパで意気揚り果敢な闘争は遂に政治問題化するに至り特別委員会まで設けられ通産、農林大蔵各関係当局並日銀への働きかけなど極力手が打たれたが努力の甲斐もなく遂に廃山と決定、八月十九日附

一、各鉱業所再開のため会社は速かに第三者に譲山する。

二、再開の場合は八月廿一日現在の組合員の完全雇傭並に現在の労働条件を低下させないよう第三者、組合、会社三者間で協議決定する。

三、再開の場合譲山で得た金額その他の財源を以つて未払賃金、退職金その他諸給与、手当等を最優先的に支払う。

四、会社はこれと併行して特定のものを除く資材物件等を買却して前項の諸支払を行う。

五、前項の公正且つ円滑な運営をはかるため会社組合双方で処理委員会を設ける。

以上を骨子に十項目に亘る協定書

總額七万一千圓
炎天下に近江絹糸中小救援カンパ

八月十三日の給料日をねらつて組合本部は各支部と呼応して中小炭鉱並びに近江絹糸の労組救援の街頭資金カンパと共に最近問題となつている黄変米配給反対の署名運動を併せて行つた。四山県営、松屋前　栄町の三班に分れ一班の構成は執行員二名、炭婦協二名、組合女子事務員一名の五名で編成した。

市民会館前のカンパ隊

十日以上も照りつづける街頭は全く暑いの一語につきる。不景気とは云え、お盆を前日に控えた商店街は人通りは少ない。然しカンパの箱を見ると避けて行く人が半数以上、署名だけでもと頼むと何処でしていますかと問い返して署名してくれる人は未だ良い方。流行の尖端を行く服装の女性は全然と云つて間違いない程見向きもしない。然し自ら進んで署名して行く人は矢張り一見して労働者と分る服装の人だ、頼もしい。若いアンチヤン風の男が俺は外米は喰わんからと云つて通りすぎるのは未だ日常の宣伝活動を徹底せねばと奮起したくなるが中年のおばさんが鉛筆までにぎろうとして逃げるのはどう云う考えか一寸通じん。自由労組組合員のおばさん達が手さげかごから印鑑迄出して署名する姿には頭が下る。退勤途中の組合員が自転車で通りすぎてから停つて又もどつて署名して「御苦労さん」と云つてくれるのには疲れも軽くなる等、色々な体験をして夕刻引揚げた。当初は組合員一人拾円カンパをと発案された近江絹糸の救援カンパはかくの如く街頭進出となつたが成果は別記の如く揚がつた。

本所	二六、〇八八円
三川	七、〇七七円
宮浦	一二、五三五円
港務	八、九二二円
四山	五、八九〇円
製作	六、八九九円
	（未収）
本部	三、九五七円

豫算案等を決定
三池炭婦協の幹事會

三池炭婦協では廿日午前十一時から鉱組本部で幹事会をひらき、次の諸問題を審議決定した。

△北會長カンパ処分の件

先に平和大集会出席のため北会長に十万八千九百四十円（本部でラウンドして十一万円）をカンパしたが旅券が下附されず取止めとなつたのでこれをどうするかを議した結果三川、宮浦両支部は一応返還　本所は態度保留、港務、四山三作は三池炭婦協へ保管を委任することに決定、然し今秋その機会があつて北会長が行かれる場合は再び差し出すことに決定

△書記採用の件

連絡、議事録作成等のため書記一名を置くことを先の分会長会議で決定、募集要項を

一、満十八才から廿五才までの独身婦人

二、給与は月額三千円（月廿日程度出勤）

三、身体強健で珠算、簿記が出来文字がきれいに書ける旧大牟田市内居住者

四、職業安定所を通じて雇い入れるので希望者は職安に申し込んでもらう

以上の要項を決定した

△婦團連加入の件

当日結論をうむに至らなかつたので九月の分会長会議までに各支部の意見を取まとめ決定する。

△炭勞大會出席の件

北海道で開れる臨時大会に傍聴者二名を予定していたが、成るべく多くの人に大会を参観してもらうとの見地から北海道大会を見送り十一月福岡で予定されている次回大会に成るべく多数傍聴者を送る事を決定。

その他今年度予算案（次回分会長会議で最終決定　規約一部改正の件（監事会と役員会の中間に評議員会（本部役員と支部長計十二名）を設ける等の諸件案を夫々審議決定して午后一時半散会した。

家庭争議にも一役
万田炭婦協にあつた話

万田社宅の炭婦協会員Aさん（特に名を秘す）は、共済会から借り出した相当額まとまつた金額を御主人が勝手に費消してしまつたと云うので憤慨して三日ほど家を空け、深刻な家庭争議に陥つたのを聞き知つた同分会の岡山ちづ子さんはAさんに会つて「御主人に例えばパチンコや女遊びなどいけないことがあつたにもせよ、妻としてのつとめを全く果して[illegible]うか反省してみる必要[illegible]はありませんか？　万[illegible]で夫婦別れや自殺さわ[illegible]たら御当人達の不幸であ[illegible]

融資問題でボイコット

[illegible]を取交したが、[illegible]一ケ月高倉争[illegible]で活躍した三池[illegible]次のように報[illegible]

福銀、佐興、[illegible]資一億円につい[illegible]として関係者の[illegible]

差押物件の移動阻止ヒケ
盆休みも返上して物件の買込先をさがす

[illegible]

花園法政部長談

[illegible]

世話方廢止で不便

[illegible]

四山人事係でないと発行出来ないとの事、それで仕方なく分院[illegible]お願い致します。

[illegible]行部並びに地域分会長の善処を[illegible]願自弁しなくてはなりません。尚世話方廃止によつて困るとの[illegible]多忙な山元実[illegible]守して皆さんに[illegible]

お答え

[illegible]

主婦も混えて
銀水社宅の排球大会

[illegible]

家計簿のつけ方

計理士　杉原　實（9）

さて一ケ月の例題を作つてみましたのでこれを帳簿に記入してみましょう。数字の頭に△がついているのは赤インクで書くのですが印刷の都合で赤という意味を△で表示します。

日	摘要	出金計	残高
1	前月繰越	[illegible]	5,000
2	[illegible]	50	4,950
3	[illegible]	170	4,830
4	高利貸利息	1,670	3,330
5	私のクリーム 1ケ	1,870	3,130
6	花子医者代	2,070	2,930
7	[illegible]	2,110	2,890
8	[illegible]	2,210	7,790
9	主食配給	3,210	6,790
10	[illegible]	3,260	6,740
11	お鍋修理	3,280	6,720
12	[illegible]	5,080	4,920
13	高利貸返済	8,080	1,920
14	[illegible]	8,640	1,360
15	[illegible]	8,890	1,110
16	[illegible]	9,190	810
17	[illegible]	9,520	480
18	[illegible]	9,550	450
19	[illegible]	9,650	350
20	[illegible]	[illegible]	[illegible]
21	[illegible]	11,050	19,950
22	[illegible]	30,050	950
23	[illegible]	30,064	936
24	[illegible]	[illegible]	[illegible]
25	[illegible]	35,914	[illegible]
26	[illegible]	[illegible]	[illegible]
27	[illegible]	[illegible]	1,526
28	[illegible]	36,604	1,396
29	[illegible]	[illegible]	[illegible]
30	[illegible]	36,809	1,191
31	ラジオ聴取料	36,959	1,041
		36959	1,041